

住民とともに歩む議会を目指して

議会報告会・地域住民との意見交換会



4月11日(火)大石田町役場



4月14日(金)ふるさと自然館



4月13日(木)新山寺公民館

7回目となる「議会報告会・地域住民との意見交換会」を4月11日から14日まで町内3カ所を会場に開催しました。議会の活動状況や新年度予算の内容を芳賀議長が報告。その後、地域住民との意見交換を行いました。詳細は後日発行予定の議会だより号外でお知らせします。

【主な質問内容】

○大石田地区(大石田町役場)

- ・旧亀井田小学校グラウンドに置いてある残土の処理
- ・虹のプラザの維持管理費
- ・公立病院の対応
- ・次年度地区に計画中のメガソーラーの対応
- ・防災放送について
- ・栄町地区の流雪溝や水上げ問題
- ・議会インターネット中継など

○横山地区(新山寺)

- ・福祉バス利用拡大策は
- ・町道新西線の春先の整備
- ・新山寺地内町道の修繕
- ・交通安全ののぼり旗を配布してほしい
- ・最上川下河原付近の中州砂利を除去し洪水対策を
- ・交流センターの活用は
- ・空き家対策をどう進める
- ・今後の消防大石田分署など

○亀井田地区(次年度)

- ・冬期間ごみ収集車が行けない道があり回収できない
- ・次年度の除雪機が古い
- ・歳入を増やすためにも企業誘致が必要
- ・県道の冬期間封鎖の開通時期を早めてほしい
- ・など

ふるさと応援基金積立金を5千万円増額補正

○一般会計補正予算(第7回) 1億7,306万円を増額補正

道路除排雪等業務委託料	6,030万円
ふるさと応援基金積立金	5,000万円
地方創生拠点整備交付金事業(工事費など)	2,300万円 ほか

第1回 臨時会 2/9

人権擁護委員の推薦について

しょうじ 東海林明夫さん(二丁目)を人権擁護委員として推薦することに全員が賛成しました。任期は平成29年7月1日から平成32年6月30日までの3年間。

共生社会の実現に向けた障がい者差別解消条例の制定を求める請願

全員賛成で 採択

- ◆請願者 大石田町身体障がい者福祉会 会長 長瀬 敏雄
- ◆紹介議員 遠藤 宏司
- ◆請願要旨 大石田町の具体的な取り組み、施策を明らかにし、障がい者団体や行政、民間団体等が連携して共生社会の実現に向け取り組めるよう条例の制定をしてください。

追跡 あれはどうなった!

福祉バスの現状と課題

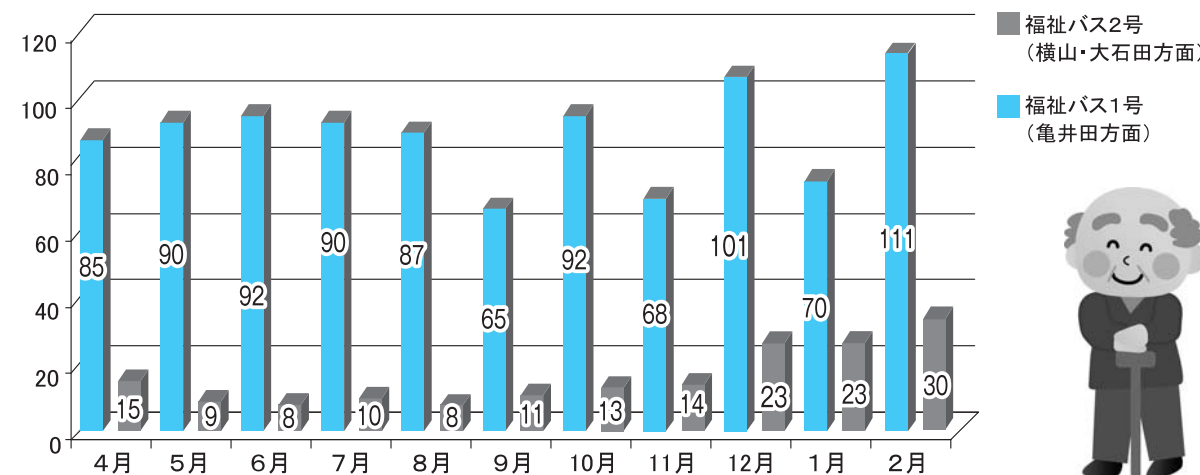
昭和から平成にかけて「レインボーバス」が町内を走り、町民の足となり活躍していた時代があった。その後、利用者の減少や経費の増加により廃止の道をたどった。その後、町民の要望により平成23年10月から「福祉バス」の運行が始まり現在も町内を循環する。亀井田方面を走る福祉バス1号は、年間利用者数1000人前後で推移しているが、横山田沢方面を走る福祉バス2号の乗車人数は、年間200人程度しか利用がなく今後の利用拡大が課題となる。

停留所の増加や新設、デマンド方式などによる運行方法の多様化が求められる。町民の利便性を図るため隣接市などまでの運行ルートなどの拡大など、町民からの要望に応じていく施策をどう進められるのか。

今後、存続のため利用拡大策を打ち出すのか、利用減少による廃止に進むのか、議会の中でも意見が分かれる。当然、通院や買い物などの確保は、日常生活を営むためには欠かせない課題ではあるが、町民のニーズに合わせたより良い方向へ進むことを望みたい。

【記 遠藤】

平成28年度「福祉バス乗車人数」



尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

ごみ処分料12年ぶりに値上げ!



平成29年7月1日～ 搬入ごみ 10k当たり 150円 → 180円
平成30年4月1日～ ごみ袋大が1枚30円 → 40円
ごみ袋小が1枚20円 → 30円

人口は減少していますが、ごみの量は減らず、経費が増高しています。
(注)現在のごみ袋は平成30年7月1日から使用できなくなります。

ごみの減量化にご協力を!!